

2023年5月発行
社会福祉法人ありのまま舎
(障害者自立企画)

発行・編集責任者

白江 浩
編 集 佐藤 環

〒982-8544

仙台市太白区西多賀4丁目19-1

TEL 022 (243) 1300

<http://www.arinomama.or.jp>

E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

2023年度社会福祉法人ありのまま舎 開所記念会 4月1日(土)

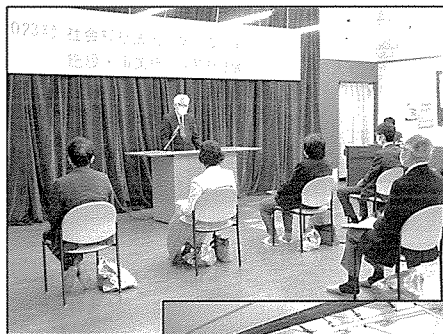


4月1日に開所記念会を4年ぶりに開催しました。法人設立時の理念を振り返り、新たな活動年度に向けて取り組む契機とするため開催していましたが、コロナ禍で3年間はスタッフのみで辞令交付式を行っていましたが、今回はコロナ禍を乗り越え、小規模ではありますがありますが一歩前に進む思いを込め行うことができました。第一部の礼拝では深田牧師より「共に生きる」についてお話を頂きました。「大和魂」の言葉に触れ、「魂」は「心」に置き換えられ、「苦しい時にも苦しみ、喜ぶ時にも喜び、他者の痛みを知ることができると心と理解できます。その心がありのまま舎は社会に示してきました。」とお話を頂きました。

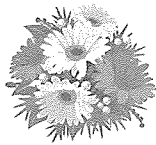
第二部の記念会では白江理事長より新年度に向けての説明がありました。「この4年間で12名の方が亡くなりました(いずれもコロナではなく原疾患の進行等によるものです)。入居者や利用者の方はすべて基礎疾患のある方です。5月8日からコロナの

対応は大きく変わります。が、生命を守り、他者と共にあるケアコミュニティを目指していきます。」と挨拶があり各拠点の方針を説明させて頂きました。

法人は設立37年を迎え、これまで多くの皆様にご指導を頂き現在の活動が存続しています。今後ともどうか変わらぬご指導を宜しくお願い申し上げます。



深田牧師による礼拝

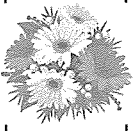


薫る風

五月八日からウイズコロナの生活が新たな段階に入る。ウイルスとしての人間に対する脅威に変化はないが、社会活動、経済活動再開の必要性、予防接種や治療薬の開発、集団免疫は獲得していないが、免疫を持った人が増えている現状等、総合的な判断から国の方針が示された。障害者支援施設入居者を始め「障り」のある人は基礎疾患がある人とされる。そうした人々に関わる人たちは(私も含め)理解しながらも戸惑っているというのが正直な気持ちだ。当舎では新たな段階への移行の方向性が示されて以来、法人感染対策委員会でも議論を重ねてきた。四月の委員会で、当面これまでの対策は緩和せず継続することを決めた。面会や外出等はこれまでも感染対策を徹底(時間・人数・場所等)について医療と人権に配慮した法律のそれぞれの専門家の知見を基に)して頂きながら実施してきた。入居者もご家族もご理解頂き、職員も自粛(外出等や日常的な感染対策)しながら、今日まで入居者では一名、職員もお子さんからの感染等で数名感染者が出ただけで、何とか無事に過ごすことができた。それは、周囲の皆さん(面会の方、職員の家族、業者の方等)の理解によって支えられていた。しかし、その方々にとっても、これからはかつての日常への復帰、いやこれまでの時間を取り返すこともあるとすれば、それ以上の新たな日常になっていくだろう。その時にこれまでの感染対策の継続は理解されるだろうか?不安が募る。先般、第八波における高齢施設での民間団体による実態調査が発表された。感染者約七%の十五人に一人の方が亡くなられた。別の調査では障害者支援施設での感染者数、クラスターの高い数に四月に入り増加している。感染リスクの高い人々の重症化率・死亡率の高さは以前高いままで。(白江浩)

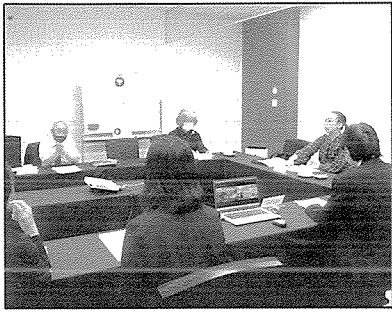
第23回ありのまま自立大賞第一次選考委員会

令和5年4月28日(金)



第23回ありのまま自立大賞の選考が始まりました。今年はCOVID-19前の形に戻し、3年ぶりに対面での第一次選考委員会を東京にて開催しました。

当日は選考委員長の瑠子女王殿下に御臨席賜り、4名の選考委員が出席し推薦のあった4名の方について協議を行いました。地域の中で地道に活動を続けておられる方、ご自身のご努力があつてメディアに取り上げられている方もおられ、ありのまま舎としてどのように選考を行うのかなど議論を行いました。瑠子女王殿下からは「それぞれ困難に立ち向かっていることは同じですが、その姿が世の中に知られていない方々が多いのかなと思つています。自立大賞



第一次選考委員会にて

の趣旨として父だつたらどうするかも、いつも通り考えながら選考したいと思つています。」とお話を賜りました。

またCOVID-19にも触れられ、「3年前にどんなことをしていたのか思い出しながら今は進化もしていかなければならないと思つています。又、この3年間の無関心の方が多くなつたと感じており、何事にも関心を持つこと、寄り添うことが大事で、それを伝えていくためにありのまま舎の活動が少しでもその役に立てれば良いと思つています。」と自立大賞を継続する意義をお話いただきました。

文章だけでは分からない活動内容やご本人の思いを直接聞かせていただくため、4名の方の面接調査を行います。5〜6月中旬に面接調査を行い、最終決定させていただきたいと思つています。

第23回ありのまま自立大賞 授賞式

7月22日(土)
14時〜15時30分(予定)

場所 仙台市福祉プラザ

訃報

高橋文子さんご逝去
―創設時代よりご支援―

山田三兄弟の幼き頃からありのまま舎の創設期を経て活動をお支え頂いた、高橋文子さんが4月にご逝去されました。当時、仙台市ボランティア連絡協議会に所属され、当舎の理事、評議員、後援会副会長を歴任し、どんな時も優しく、穏やかな言葉で活動を導いてくださり、深い愛情と慈しみの心で支えてくださいました。

お身体が許す限り行事に足を運んでくださり、受付などでは来場者の方々に感謝の気持ちを込めてお迎えしてくだつていたお姿が今でも目に浮かびます。書道が大変達筆でおられ、福祉講座の演題や受講者証におひとりおひとりのお名前を毛筆で書いて下さり、また自立ホーム入居者の表札を手書きで書いて下さったことなど、心を込めた高橋さんの思いがたくさん残つています。

「縁の下の支えでいるから」といつも裏方で支え、励まし、お力を下さいました。これまでご指導をいただき本当にありがとうございます。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



【ホームケア仙台ありのまま舎リビングセンター】

昨年10月から1名欠員となつていた自立ホームは、3月に新しい方が入居され定員7名になりました。また4月に新しいケアスタッフが入舎しケア体制も安定してきました。

自立ホームは入居者の日課はなく、個々の生活を重視して生活しています。起床や就寝の時間、食事の時間や内容、外出先などおひとりおひとり様々です。約2か月が経過し、7名の入居者のケアの日程、対応するスタッフの人員配置も定まつてきました。その結果、少し余裕を持つたケア体制を組むことができるようになり、その中でこれからどんなケアができるのかを検討しています。

「通院のタクシー代が大変なのでできれば帰日も迎えにきてほしい」「これからもっといろんな調理を考えたい」など対応が難しかった要望に応えられるようと思つています。その中で最も大切にしたいことは、時間に追われず入居者おひとりおひとりと話す時間を持つことです。その方が何に興味を持ち、今どんなことに悩んでいたり、どんな夢を持っているのかなど知ることがご本人に寄り添うケアの第一歩だと思つています。

(佐藤環)

緑と共に70余年 やすらぎのある庭づくり

有限会社 **五葉園**

〒982-0034
仙台市太白区西多賀 3-14-11
TEL 022-245-0329
FAX 022-244-8970
http://www.goyoen.com

【建設業許可】

宮城県知事許可 第15763号

【事業内容】

造園工事・各種緑化工事 設計施工
庭園・緑地 維持管理業務全般
外構・エクステリア工事 設計施工

【サポートケア仙台ありのまま舎
（難病・障害者相談支援センター）】

3月23日（木）に計画相談実務担当者研修会に参加させて頂きました。障害者ケアマネジメントの視点で重要な「利用者本位」「地域生活支援」「協働支援」の理念、実務について、計画相談業務の中でのごりごりや悩みごとを、相談業務に携わっている講師の方からお聴きしました。今回の研修会では、計画相談の業務に関わる上で、基本的なところから丁寧にお話をして頂きました。「初回面接時が特に重要」「相談員の人となりを知ることが大事」「相談員の書類の書き方で人となりが変わる。」という言葉に、専門的な知識をもって相談業務を行うことは当然ですが、利用者さんと信頼関係を築いていくことの大事さを改めて感じました。また、「利用者さんがサインしたくなるような計画書を作りたい」という話もあり、「本人の思い・ご希望に沿ったこと、これまでの生き方等を踏まえて、未来の見える計画書を作れるようになる」と思いました。

最後に、今後も研修や自立協等に参加して、ネットワークを広げ、他事業所の仲間を作り、業務だけでなく気持ちの面でもお互いに支えあえる関係を作れたらと思います。（相澤誠一）

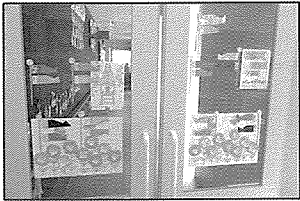
茂庭台エリア

【難病ホスピスケア太白ありのまま舎】
【アクトイヴェイティブケア】

アクトイヴェイティブでの日中の活動は、毎週火・土曜日の午前・午後行っており、また外部利用者の受け入れも行っています。コロナ禍での活動も三年が過ぎましたが、外部利用者や入居者の方には引き続き体調確認や感染対策等協力を頂きながら行っています。

活動内容としては、色々な分野のクイズやスタッフの動作で何をやっているか当てるジェスチャーゲームなど頭を使うゲームや体を動かす体操やボッチャも取り入れています。また、季節感を味わって頂くため、折り紙で旬の動植物等を作っています。その後、作品を披露する機会として目立つ箇所に飾り付けを行い、参加者の達成感や活動意欲に繋がれたらと思います。

社会では少しずつコロナによる制限が緩和されていく中、未だ課題が多いところですが、活動内容も徐々に反映できればと



アクトの入り口に入居者、利用者の方の作品を飾っています。

模索しているところです。なかなかコロナ前の活動に戻すことは、難しい中ではあります。参加者に満足して頂けるよう、これからもスタッフ一同努めます。（榎本勇太）

【チャイルドケア仙台ありのまま舎居保育園】

慌ただしい四月が過ぎ、新緑がきれいな心地よい季節となりました。

お散歩にちようど良く、お花や虫捕りに夢中な子どもたち。まだまだ網の使い方に慣れておらず、虫の逃げる速さにも追いつけないところが、微笑ましくかわいいです。しかし毎日虫と追いかっこをしているので、子どもたちも成長とともに虫捕りが上手になっていき、素手でも捕まえることができるようになります。子どもの逞しいところだなと毎年感心しています。昨年、大根を植えたところ、葉っぱにちようちよが沢山の卵を産み、頑張つて羽化に成功しました。今年もちようちよが来てくれるように、葉物の野菜を植えました。ちようちよは来てくれるでしょうか。子どもたちとワクワクしながら水やりを楽しんでいます。

今は捕まえることが楽しい様子ですが、植物を含めた生き物の命や生態に興味を深めていくといいなと思っています。（春日麻里）

名取エリア

【サポートケア名取ありのまま舎
（難病・障害者相談支援センター）】

昨年度に引き続き、今年度もご相談者へのインタビューを通して、生きがいや目標について、皆様にお伝えしたいと思えます。今回は知的障害のある就労継続支援B型事業所で精密機器の部品の組み立て作業に取り組みされているMさんにインタビューをしました。

- 1. 楽しみにしていること
通所先で企画してもらええる小旅行です。3月も亙理方面まで足を運んでメンバーさんと食事をしたり、お土産を買って楽しみました。また、家族と外食に行くことも楽しみになっています。
- 2. 頑張っていること
やはり仕事です。最近、新しい作業も増えました。丁寧に部品を扱いながら、スピードも必要です。
- 3. 目標について
コロナウイルスが落ち着いたら、家族でおしゃべりしながら外食をしたり、ドライブに行ったりしたいです。

やりがいを感じながら仕事に取り組まれているMさんが仕事や余暇を楽しめるよう、今後もサポートしていきたいと思えます。（澤田石裕子）

【サポートケア亙理ありのまま舎亙理相談支援センター】

四月からサポートケア亙理ありのまま舎よりサポートケア亙理ありのまま舎亙理相談支援センターに異動になりました清野麻紀です。

サポートケア亙理ありのまま舎では、岩沼市から委託を受け、岩沼市委託相談として、相談者様から話を直接聞き、困りごとを一緒に考えてきました。

サポートケア亙理ありのまま舎では、基幹相談支援センターとして亙理町障害者等地域自立支援協議会の事務局・全体会・専門部会の運営を行っています。私自身、亙理町の自立支援協議会に参加するのが三年ぶりとなり、事務局・全体会の運営に関わるのは初めてです。サポートケア亙理ありのまま舎では気づくことができなかった別の視点で、亙理町の現状を知り、現状に合う機能体制を構築することを勉強させて頂ければと思います。

これまでの利用者様との直接の相談業務の中で培ってきた視点を活かしながら、地域全体を見ていき、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしているための地域づくりに貢献していきたいと思えます。（清野麻紀）

【難病ホス・ピスケア 巨理ありのまま舎】

【ケア】

春の訪れが早く、あつという間に暖かい季節になり桜が開花しました。世間でもお花見も徐々に解禁されてきているので、巨理ありのまま舎でも、すぐ隣にある立派な桜の木の下、お花見をしました。

皆さん、「桜早いね」と笑顔で話されておりました。また、施設内でも大きな桜の木を作成しました。桜の花の形や桜の花びらの形を折り紙で切って、色とりどりの賑やかな桜の木が完成しました。面会に来られた方などに見てもらい、楽しんでもらっています。また、よく見ると入居者や利用者の方がお花見をしている様子になるよう工夫してつくられた作品になっています。



桜の木を作成しました。木の下では入居者や利用者の方がお花見をしています。



桜並木の下で！

新型コロナウイルスも減少傾向にあり、5月には5類への移行により今までの生活が徐々に戻りつつあります。桜の木の下での笑顔が普段の生活の中でもたくさん見られますように、安心して生活できる支援を行っていききたいと思います。

(内海彩香)

【サポートケア県南ありのまま舎 (難病・障害者相談支援センター)】

長期的に入院生活を送っているAさんとBさん。それぞれが今後の退院に向けて生活環境を整えるため病院相談員の協力をもらいながら準備を進めている場面に少しお手伝いをさせていただいています。

Aさんは、自宅に帰るための準備の一つとしてショートステイの利用を考えており、一時外出して事業所見学をしてもらいました。全く知らない事業所ではないこともあり、前向きに利用を考えてくれました。今後更に事業所の情報を持ち寄りながら見学を進めつつ退院に向かっていくこととなります。

Bさんは、自宅ではなく常に支援者として支えてくれるスタッフがいるグループホームへの移行を考えて見学を行いました。ご本人も気に入られて、更に近隣の日中活動の場も確保もできる見込みともなり、具体的に進めていくことになりました。

お二人とも病院の新型コロナウイルス対策でお会いしたことがこれまででありませんでしたので、久しぶりに顔を合わせて何気ない言葉を交わすことができたことに素直な喜びを感じました。ご本人のペースに寄り添いながら地域での生活に戻するためのお手伝いを進めていきます。

(齋藤栄樹)

「協力ありがとう」「ございました」(敬称略)

【本部】

◆会報発送のための帯封の糊付けを、仙台西高等学校JRC有志・東北学院榴ヶ岡高等学校有志・個人の皆様にお手伝いいただきました。

◆バザー会では、各会場でコロナ感染症予防に気を付けながらお手伝いいただいています。シヨップセールの会場でも、開始準備や片付け等のお手伝いいただきました。

【太白ありのまま舎】

◆仙台シルバーネットの皆様による「読書会」◆茂庭台ボランティアグループの皆様による「気ままに書く会」(書道)

◆宮城県車いすダンス協会様による「車いすダンス」など施設内で行う活動は引き続きお休みさせていただいております。

毎月、日本基督教団東北教区婦人会の皆様に会報の折込をお願いしておりますが、今月は当舎の都合で直前に中止となりました。調整して頂いた皆様には大変申し訳ない次第でしたが、その旨のご連絡をした際にも、快く状況を理解して頂き、次回への意欲を伝えてくださりました。ありのまま舎を支えてくださっている事を改めて強く感じました。本当にありがとうございます。

(遠藤寿子)

レンタカー・カーリースのご用命は



本社 / 仙台市宮城野区宮千代 2-13-3 電話 022-283-0100
法人営業部 / 仙台市宮城野区日の出町 2-3-7 電話 022-782-0022

本 町	店 022-224-0100	卸 町	店 022-237-0100	仙 台 空 港	店 0223-22-0100	新幹線くりこま高蔵駅前	店 0228-21-2100
交 通 局 前	店 022-221-0100	高 砂	店 022-254-0100	柴 田	店 0224-57-0100	石 巻 駅 前	店 0225-21-7007
仙 台 駅 西 口	店 022-213-0100	鹿 野 2 8 6	店 022-246-0100	新 幹 線 白 石 蔵 王 駅	店 0224-22-0252	石 巻	店 0225-22-0100
仙 台 駅 東 口	店 022-293-0100	泉 中 央 駅 前	店 022-372-0100	新 幹 線 古 川 駅 前	店 0229-23-0100	気 仙 沼	店 0226-22-0100

新型ウォークシー(車いす仕様・電動スロープ車)

その他ウェルキャブもラインナップしております。

1976年2月25日 第3種郵便物認可(毎週4回月・火・木・金曜日発行)

貴重な講話を聴くことができる講演会です！ ご参加をお待ちしています！

第34回

ありのまま 生活福祉講座



あきこじよおうでんか
座長 彬子女王殿下

令和5年6月10日(土)

13:30 ~ 16:00

場所

仙台市福祉プラザ ふれあいホール

〒980-0022 仙台市青葉区五橋2丁目12-2

参加費

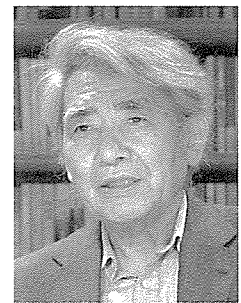
一般 2,500 円 (学割・団体割有り)

会員 2,000 円 (年会費 2,000 円、入会金初回のみ 1,000 円)

講師

ながた かずひろ
永田 和宏氏

(歌人、JT生命誌研究館館長、京都大学名誉教授、京都産業大学名誉教授)



「言葉の力」



よしだ しょう
吉田 翔氏

(長崎みなとメディカルセンター、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科専門医、元デフリンピックバレーボール日本代表)

「聴覚障害をもっと知ってほしい」

ありのまま生活福祉講座とは

福祉を身近なものとして理解して頂き、共に考えていく場となることを願い、1987年より毎回開催しているものです。当講座の座長には、前座長の故寛仁親王殿下の第一女子であられる彬子女王殿下が、第29回よりご就任くださいました。福祉にとらわれず各方面にわたってご活躍されている方々を講師にお招きして開催しています。

主催 / (社福) ありのまま舎・(株) 河北新報社・tbc 東北放送 (株) 協賛 / サントリー (株) 東北営業部
後援 / 宮城県・仙台市

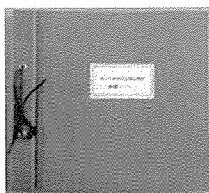
ありのまま舎とは

社会福祉法人ありのまま舎は、「難病や障害を持つ方も持たない方も、子どもも高齢者も、誰もがありのままに暮らせるコミュニティづくり」を目指しています。本講座をはじめ、難病や障害を持つ方々の顕彰など、様々な啓発活動を行っています。

会員特典 (限定 300 名)

福祉講座会員とは、本講座の意義をご理解頂き、長い目でご協力頂ける方になります。

会員は、初回のみ入会金 1,000 円と年会費 2,000 円がかかりますが、その年の福祉講座参加費が無料となります。また、下記の受講ノートが貰え、講座に参加する度に、受講印が押印されていきます。



受講ノート

オリジナル座長印



ありのまま生活
福祉講座 座長

◆◆◆ 彬子女王

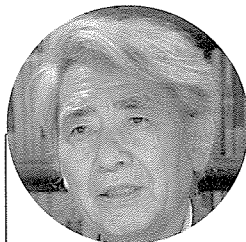
受講印

あきこじよおうてんか

【座長】彬子女王殿下

寛仁親王殿下の第一女子として誕生。学習院大学を卒業後、オックスフォード大学マートン・コレッジに留学。日本美術を専攻し、海外に流出した日本美術に関する調査・研究を行い、2010年に博士号を取得された。女性皇族として博士号の取得は史上初のことである。

子どもたちに日本文化を伝えるために、ご自身で一般社団法人「心游舎」を創設、総裁に就任され、全国各地でワークショップなどを行われている。



永田 和宏 氏

歌人、JT 生命誌研究館館長、
京都大学名誉教授、京都産業大学名誉教授

1947年滋賀県生まれ。京都大学理学部物理学科卒業。米国 NIH (国立がん研究所) 客員准教授を経て、京都大学胸部疾患研究所教授、同再生医科学研究所教授、京都産業大学総合生命学部学部長、同タンパク質動態研究所所長などを歴任。2020年4月より現職。日本細胞生物学会会長 (2002年~2006年)、Cell Stress International 会長、塔短歌会主宰 (2014年まで)、朝日歌壇、宮中歌会始詠進歌選者など。

紫綬褒章、ハンスノイラート賞 (USA)、瑞宝中授章他受賞 (章)。歌人として読売文学賞、芸術選奨文部科学大臣賞、現代短歌大賞、遼空賞、斎藤茂吉賞、若山牧水賞、毎日芸術賞など受賞多数。歌集 15 冊の他、『近代秀歌』『現代秀歌』『タンパク質の一生』(以上、岩波新書)、『歌に私は泣くだらう』(新潮文庫)、『あの胸が岬のように遠かった』(新潮社)、『生命の内と外』(新潮選書)、『知の体力』(新潮新書)、『象徴のうた』(文藝春秋)など多数。



吉田 翔 氏

長崎みなとメディカルセンター、
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科専門医、元デフリンピックバレーボール日本代表

1984年6月16日生まれ (出身：佐賀市)。先天性両耳性難聴。佐賀県ろう学校幼稚部1年間通級し、普通幼稚園へ入園。普通小中学校 (循誘小学校・城東中学校) へ入学。公立佐賀西高校進学。大学受験を1浪し、九州大学医学部保健学科検査技術科学専攻入学。卒業後2浪して佐賀大学医学部医学科入学。

その後、国立病院機構佐賀病院2年間研修医を経て、長崎大学病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科修練医、長崎みなとメディカルセンター、佐世保総合医療センター、現在長崎みなとメディカルセンター所属。

2017年トルコサムスンで開催されたデフリンピック (4年に1度世界規模で行われる聴覚障害者のための総合スポーツ大会) のバレーボール日本代表として出場。2022年に第22回ありのまま自立大賞受賞。同年、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科専門医取得。

「支援頂きありがとうございます
」ありがとうございました(敬称略)

【書き損じはがき等】

- 23 3/25〜4/26
(仙台市) 支倉敦子・鈴木幸子・都築恭子
他、たくさんの匿名の方々
- (名取市) 荒川直樹
- (気仙沼市) 匿名
- (福島県) 遠藤靖子
(鈴木一彦)

【バザー提供】

- 23 3/31〜4/27
(仙台市) 工藤雅照・小座間香・鈴木愛子・加藤啓子・伊澤幸枝・三島靖子・渡辺光幸・菅原邦子・佐藤俊雄・夏井美智子・都築恭子・他沢山の匿名の皆様
- (大崎市) 佐々木ゆり子
- (名取市) 石川照子・小室優子・匿名
(川尻誠)

【ボトルカンパ】

- 23 3/25〜4/26
ありのまま舎事務所
(太白区) 9,450円
事務所入り口前の廊下にカンパ箱を設置させて頂いており、来訪された方々や入居者の方々などより、温かなお支えをお寄せ頂いております。
- ありのままショップ
(太白区) 1,893円

毎月開催しておりますショップセールにて、たくさんの硬

貨をお寄せ頂くなど、お客様
の温かなお気持ちに支えられ
て運営が出来ます事を、心よ
り嬉しく思います。

ウジエスパー仙台中山店
(青葉区) 13,322円

お店の方々よりお元気な挨拶
を頂き、嬉しい気持ちになり
ました。お店の活気を肌で感
じる事が出来ました。

フードマーケット フジサキ
(泉区) 18,800円

藤崎百貨店様が本館で扱われ
ている商品とリーズナブルな
価格商品とを融合させて展開
されている、新郊外型店舗で
す。店長様に「丁寧に対応頂
き、皆様よりの温かなお気持
ちを強く感じました。

フレッシュフードモリヤ落合
店(青葉区) 8,195円

地域の皆様に愛されているお
店に永年に亘りカンパボトル
を設置させて頂けます事、大
変心強く感じております。

生鮮倶楽部フレッシュマーケット太
陽(株)東仙台店(宮城野区)
6,829円

お昼の大変活気みなぎる時間
帯にお伺いさせて頂きました。
お客様よりの思いのつまった
ボトルに感謝の気持ちで一杯
です。



【バザー開催日のご案内】

- 《2023年6月》
- 1日(木) ヨークマルシェ大和町店
(若林区)
- 6日(火) ヨークベニマル山田鉤取店
(太白区)
- 8日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば
(宮城野区)
- 13日(火) ヨークベニマル南吉成店
(青葉区)
- 20日(火) ヤマザワ茂庭店
(太白区)
- 22日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば
(宮城野区)
- 24日(土) ありのままショップセール
(仙台ありのまま舎)
- 27日(火) 袋原(向日葵)ライブ
サポートセンター・太白区

皆様のご支援に心より感謝申
し上げます。



当舎ホームページの
QRコードです。会
報「自立」も掲載中
です。今年も様々な
情報を発信して行き
たいと思います。

ありのまま舎後援会(敬称略)

- 23 4/1〜4/26
【2023年 個人会費】

全国からのご支援 ありがとう
ございます。(事務局 佐藤環)

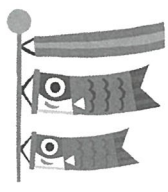
【自販機販売設置支援】

◆サントリービバレッジ
3月分の売上の一部をご寄付
頂きました。

- こくみん共済coop
宮城推進本部 1,353円
- ありのまま舎(自立ホーム・太
白ありのまま舎・サポートケア
県南・亘理ありのまま舎)
11,101円

◆株式会社ミチノク

- 23 1〜3月分売上
日下亜弥 567円
- 亘理ありのまま舎 5,285円



「ありのまま舎運営協力寄付金」
23 2/18〜2/28